



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,274	0.1	184	20.2	168	20.4	305	180.5
26年3月期第1四半期	4,270	10.3	153	—	139	—	108	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 307百万円 (206.9%) 26年3月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.29	—
26年3月期第1四半期	5.09	5.00

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,885	5,698	41.0
26年3月期	15,262	5,393	35.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,698百万円 26年3月期 5,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,690	△1.1	400	37.9	240	△6.3	290	98.6	13.56
通期	17,360	△0.6	820	16.0	620	△2.2	480	40.4	22.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	21,504,347 株	26年3月期	21,504,347 株
27年3月期1Q	112,937 株	26年3月期	112,937 株
27年3月期1Q	21,391,410 株	26年3月期1Q	21,392,910 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府経済政策や日銀の金融政策により、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな景気回復基調が続いているものの、消費税増税の影響、海外景気下振れや地政学的リスクに対する懸念等もあり、不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費税増税による消費減退の影響は限定的なものに止まっております。しかしながら、原材料価格や電気料金の上昇、人材の確保、業態を超えた競争等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの充実に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高42億74百万円（対前年同期比0.1%増）、営業利益1億84百万円（対前年同期比20.2%増）、経常利益1億68百万円（対前年同期比20.4%増）、四半期純利益3億5百万円（対前年同期比180.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は198店舗であります。内訳は直営158店舗、暖簾6店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「カルビまんぷく祭」、「GWハッピー大皿セットフェア」、「ヘルシー！オージービーフェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや「極上のこだわり素材のおいしさ！和風デザート」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は36億46百万円（対前年同期比0.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億72百万円（対前年同期比11.0%増）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「春の味比べ！ご当地和牛フェア」、「牛・羊・豚・鶏を賑やかに食わず！牧場焼肉フェア」、「ご好評にお応えして堂々復活！牛一頭食べつくし祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや和風スイーツ等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億20百万円（対前年同期比6.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は61百万円（対前年同期比43.0%増）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗であります。内訳は直営5店舗、暖簾1店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億6百万円（対前年同期比27.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は0.9百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ13億76百万円減少し、138億85百万円となりました。借入金の返済等により現金及び預金が13億31百万円減少したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ16億81百万円減少し、81億87百万円となりました。これは主に、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円増加し、56億98百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が5,613千円減少し、利益剰余金が3,648千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,939,608	1,608,358
受取手形及び売掛金	338,957	271,279
商品及び製品	125,746	132,558
仕掛品	636	1,052
原材料及び貯蔵品	333,450	379,868
前払費用	211,335	205,643
繰延税金資産	75,643	52,311
その他	110,183	77,006
流動資産合計	4,135,563	2,728,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,234,469	2,203,333
機械装置及び運搬具（純額）	43,314	39,186
工具、器具及び備品（純額）	172,699	168,041
土地	5,627,685	5,617,412
リース資産（純額）	21,310	124,483
有形固定資産合計	8,099,479	8,152,457
無形固定資産	105,238	106,318
投資その他の資産		
投資有価証券	72,438	84,955
長期貸付金	855,012	847,901
長期前払費用	28,259	26,900
繰延税金資産	79,492	75,854
敷金及び保証金	2,569,302	2,552,742
その他	53,420	46,357
貸倒引当金	△735,974	△735,812
投資その他の資産合計	2,921,951	2,898,899
固定資産合計	11,126,670	11,157,674
資産合計	15,262,233	13,885,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,524	455,721
短期借入金	6,801,644	5,103,726
リース債務	11,553	34,512
割賦未払金	23,318	34,300
未払金	257,625	271,067
設備関係未払金	80,595	39,174
未払費用	509,233	546,237
未払法人税等	187,167	193,758
未払消費税等	84,408	123,839
賞与引当金	83,440	51,550
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	545,794	456,838
流動負債合計	9,137,522	7,313,945
固定負債		
長期借入金	7,172	38,096
リース債務	19,721	107,648
長期割賦未払金	63,852	89,426
繰延税金負債	118,197	118,329
役員退職慰労引当金	284,093	288,467
転貸損失引当金	24,932	24,128
退職給付に係る負債	138,758	132,799
その他	74,534	74,534
固定負債合計	731,261	873,430
負債合計	9,868,784	8,187,376
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△260,603	48,707
自己株式	△67,871	△67,871
株主資本合計	5,391,171	5,700,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,762	△2,104
その他の包括利益累計額合計	△3,762	△2,104
新株予約権	6,040	—
純資産合計	5,393,448	5,698,378
負債純資産合計	15,262,233	13,885,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,270,992	4,274,727
売上原価	1,558,141	1,499,903
売上総利益	2,712,851	2,774,823
販売費及び一般管理費	2,559,701	2,590,710
営業利益	153,149	184,112
営業外収益		
受取利息	8,129	7,798
受取配当金	990	1,013
受取地代家賃	2,764	2,664
貸倒引当金戻入額	179	162
その他	13,865	12,045
営業外収益合計	25,929	23,684
営業外費用		
支払利息	36,487	34,708
その他	2,967	4,923
営業外費用合計	39,455	39,632
経常利益	139,623	168,165
特別利益		
受取保険金	—	3,924
債務免除益	—	361,663
特別利益合計	—	365,587
特別損失		
固定資産除却損	1,671	144
減損損失	—	21,858
賃貸借契約解約損	174	1,540
特別損失合計	1,846	23,543
税金等調整前四半期純利益	137,777	510,209
法人税、住民税及び事業税	22,781	180,301
法人税等調整額	6,037	24,245
法人税等合計	28,818	204,546
少数株主損益調整前四半期純利益	108,958	305,662
四半期純利益	108,958	305,662



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,958	305,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,819	1,657
その他の包括利益合計	△8,819	1,657
四半期包括利益	100,139	307,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,139	307,320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,634,680	488,787	147,525	4,270,992	4,270,992	—	4,270,992
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,634,680	488,787	147,525	4,270,992	4,270,992	—	4,270,992
セグメント利益又は 損失(△)	245,673	42,887	△2,933	285,627	285,627	△132,478	153,149

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,646,967	520,777	106,982	4,274,727	4,274,727	—	4,274,727
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,646,967	520,777	106,982	4,274,727	4,274,727	—	4,274,727
セグメント利益又は 損失(△)	272,731	61,321	△974	333,079	333,079	△148,966	184,112

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、当該変更が当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては21,858千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。